

私たちは、昨年 89,152 人の人々に 支援を届けてきました。

若年者就労訓練プログラム「ジョブトレ」、わが子の自立に悩む母親の会「結(ゆい)」、高校などへの出前授業「教育支援」、困窮世帯の子ども支援「学習支援」を中心に、「地域若者サポートステーション」(厚生労働省)など、2015-2016年に約 9 万人の人々に支援を届けることができました。

今後も、支援の手が届きにくい人々への支援に力を入れていきます。

2006年	社会貢献支援財団「21世紀若者賞」受賞
2007年	内閣総理大臣「再チャレンジ支援功労賞表彰」受賞
2008年	多摩信用金庫「多摩グリーン賞(経営部門)」優秀賞受賞
2009年	経済産業省「ソーシャルビジネス 55 選」選出
2011年	理事長 工藤啓 日経ビジネス「次代を創る 100 人」選出
2014年	「第 11 回日本パートナーシップ大賞」受賞 READY FOR OF THE YEAR 受賞
2015年	理事長 工藤啓 「一億総活躍国民会議」民間議員就任

「お金が払えないなら支援できない」と
私たちは言えない。言いたくない。

「大丈夫です」

この一言によって目の前にいる若者、子どもたちの表情が希望に満ちたものになります。お金が払えないから支援ができないとは言いたくない。経済性を理由にあきらめる顔をみたくない。そんな現実を変え、支援を望むひとたちに手を差し伸べられるのは、多くの寄付者の存在があるからです。

頑張れる状態、頼れるひとのいる状況、安心してチャレンジできる環境によって、彼らの未来は大きく拓かれていきます。あなたのやさしさに支えてもらった経験は、他者を受け入れ、支えていく“あなたのような存在”で満たされた豊かな社会へとつながります。つらいバトンは私たちが終わりにし、やさしいバトンをつないでいきましょう。若者、子どもたちの未来を創ることは、私たちの未来を創ることです。一緒に創ってください、やさしいひとたちで満たされる社会を。



理事長 工藤 啓



認定特定非営利活動法人 育て上げネット

〒190-0011 東京都立川市高松町 2-9-22 生活館ビル 3F

E-mail info@sodateage.net HP http://www.sodateage.net

☎ 042-527-6051
FAX 042-548-1368

継続的なご支援をお願いします。

●Web サイト上からクレジットカード定期引き落とし

下記 URL にアクセスして、所定項目を記入し、会員登録してください。

<https://www.kifu-form.jp/form/sodateage/once/index.html>

キフカラ 育て上げ 検索



1. 継続的な支援をする を

お選びいただき、
所定の項目にご記入ください。

月額、年額の金額をお選びいただけます。
1 回のみ寄付もweb上で承ります。

寄付金額	継続寄付・月額
	① 1,000円/月 ② 3,000円/月 ③ 5,000円/月 ④ 10,000円/月
	継続寄付・年額
	① 3,000円/年 ② 5,000円/年 ③ 10,000円/年
	※上記以外の金額をご希望の場合は、別途お問い合わせください。

web サイト上から
カンタンにお手続きできます。



クリック!!

継続のご寄付をいただいた方には、事業報告書の送付ほか、事業報告会や発表会へのご招待など、活動報告や交流の場をご用意させていただきます。

●今回のみの寄付を振り込みする

振込によるご寄付も受け付けております。
振込用紙に必要事項をご記入のうえお振り込みください。
振込用紙が必要な方は、上記育て上げネットまでご連絡ください。

「認定特定非営利活動法人(認定 NPO 法人)」とは、運営組織及び事業活動が適正であり、公益の増進に資することなど、一定の要件を満たすものとして、各自治体から認定を受けたものをいいます。認定 NPO 法人に対する寄付は、「寄付金控除(所得控除および税額控除)」の対象となり、税制上の優遇措置が講じられます。



認定特定非営利活動法人

育て上げネット

みなさまのご寄付のおかげで
ボクはいま、
働けるようになりました。

大学を中退し、そのままひきこもってしまったボク。

アルバイトの面接すら落ち続けていました。

どこかで「働く練習」がしたいと思ったけれど、

就職活動のお金もままならないのに、

まして支援を受ける費用なんてとても捻出できず、

断念するしかありませんでした。

しかし、育て上げネットを支えてくれるみなさまのおかげで、

「働く練習」をすることができました。

スタッフの支えで就活をなんとか乗り越えたボクは、

いま、働きはじめています。

あのと時のボクと同じ若者が、

みなさまのサポートを必要としています。

1 日 100 円を子ども・若者に投資してください。

若者と社会をつなぐ……認定NPO法人育て上げネット

私たちがめざすのは、すべての若者が社会的所属を獲得し、

「働く」と「働き続ける」を実現できる社会です。

そのために、「若者と社会をつなぐ」を行っていきます。

私たちの活動を知ってください。

ちょっとしたボタンの掛け違いやつまずきから、誰もが若年無業に陥る可能性があります。

当事者である若者支援に加え、当事者の保護者支援、子ども・学生へ予防的支援を行っています。

若年層（15～39 歳）の 16 人に 1 人が無業*にあるなか、私たちは働きたいけれど働けない若者への支援を中心にを行っています。 *育て上げネット独自調査より

また、わが子の自立に悩む保護者への支援や、不本意に無業に陥らないための予防的な教育支援活動、経済的困窮状態にある世帯の子どもたちへ学習支援活動なども行っています。

保護者支援

わが子の自立に悩む家族、保護者へのコンサルティング、カウンセリングのほか、啓蒙セミナー等各種セミナー。

就労をめざした各種セミナーや資格取得・スキルアップセミナー、「働く」を体験するジョブトレ、しごと体験、インターン。支援現場の必要に応じて、新しいサービスを開発・展開。

若者支援

教育支援 学習支援

高校などへ出張して、金銭教育や社会資源を伝える授業を実施する「教育支援」。また、困窮世帯の子どもたちに学習や社会見学をサポートする「学習支援」。

予防的支援

若者支援を中心に多岐にわたる活動を行っています。

ここに挙げたのは一例です。また支援費用は概算となります。



◀若者に対してスキルアップセミナーや職業人セミナーの実施

10000円で職業人講話1回分

▶子どもの学習を支援
社会見学等の実施



◀若者に対して提携企業へのインターンサポート

10000円で交通費約1ヵ月分

▶高校での金銭教育等の実施



◀若者に対してマンツーマンのカウンセリングやセミナー等の実施

3000円でトレーニング1日分



3000円で模擬試験1回分



3000円で教材費10人分

そのほかにも、若者支援の現場を可視化・体系化し、若者支援者を育成すること、地域社会・行政・企業など若者を支援する担い手を増やすための啓蒙活動、積極的な政策提言による社会的な仕組みづくりも行っています。

▶若年無業者の調査・研究



Social Investment

若者への就労支援は社会投資です。

誰もが無業になりうるのに、無業状態から抜け出しにくい社会。 この影響を受けやすい若者を支えることは、日本の将来への社会投資にほかなりません。

1日100円を子ども・若者に投資してください。

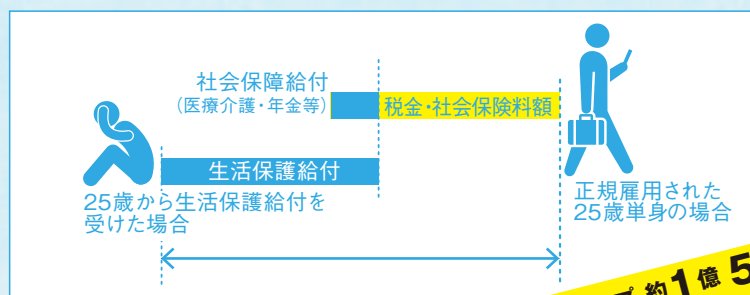
無業の若者には収入がないため、就職活動費や支援機関の利用は大きな負担になります。

生活困窮を理由に支援を受けられない方をゼロにしたい。

若者が支援を受けるためにかかる費用は各家庭から捻出されます。しかし、ひとり親世帯など経済不安のある家庭では就活のスーツや交通費だけでも精一杯で、支援を受ける費用を出すのが難しいのが実情です。いただいたご寄付は、経済的困窮状態にある若者に支援を届けるために活用します。若者の「働く」が実現すれば、寄付は社会に還元され大きなリターンとなります。

無業の若者を放置すると莫大な社会保障費が必要になります。他人ごとではない問題です。

▼厚生労働省／2012年「生活保護を受給し続けた場合と就業した場合の社会保障等と与える影響について」



25歳の若者が就業した場合と、生活保護を受給した場合では、65歳の段階で、コストギャップが1人あたり約1億2千～5千万円になると、厚生労働省は試算しています。

働きたいのに履歴書の空白で不採用の毎日から脱出。スタッフと仲間の支えで働き続けられています。

みなさまからのご寄付による若者就労応援パッケージを利用したNさん(21歳)からのメッセージ

小学校のころから不登校だった私が、最初に「なんとかしなきゃ」と思ったのは20歳になったときでした。すでに10年近くひきこもっている私を支えるため、母親が懸命に働いてくれていることに気づき、このままではいけないと思ったのです。

しかし、働きたくても履歴書の空白が壁になり、不採用が続きました。

そんなとき、支援機関の方から育て上げネットのプログラムを紹介してもらいました。苦しい対人関係を克服できそうで、働くための準備ができると思い利用を決めました。

私は3ヵ月ほど支援を受けました。職場体験やビジネスマナーのセミナーで働くための準備ができましたし、また、定期的な面談では自分の成長がわかり、自分の変化に自信が持てるようになりました。スタッフと仲間を支えられた3ヵ月を経て、私は働きはじめることができました。

販売員として働きはじめ、3年が経ちます。人付き合いが得意になったわけではありませんが、困ったときに話を聞いてくれるスタッフや仲間がいるので「もう少しがんばってみよう」と毎日、仕事に向き合っています。

親に申し訳ないと思ってる。が、がんばりたいのに、方法がわからなかった。

つまづいてしまった若者のエピソードも読めるメルマガをぜひ購読してください!

メルマガ購読用→
<https://goo.gl/LMBsrG>

